

Linux基幹システムの段階的なリフト&シフトの実現に向けたクラウド活用手法をご紹介します！

～クラウドでも安心の長期サポートと、ベンダーサポートのソフトウェアが動作するコンテナ基盤～

2022年 **11月18日(金)** 14:00～14:40



FUJITSU

クラウド化が加速する中、Linux基盤を採用した高信頼な基幹システムにおいても、モダナイゼーションに向けたクラウド活用の検討が加速しています。しかし、マイナーバージョンアップの修正適用、動作検証、アップデートに伴うシステム停止といったマイナーバージョンアップの対応工数の負担増が課題となり、Linux基盤の基幹システムのクラウド化を躊躇する方もいらっしゃると思います。

そこで、富士通はオンプレミスからクラウドへ移行後もシステムの「塩漬け」が可能な長期サポートプランをご用意しました。長期サポートプランをご利用いただくと、マイナーバージョンアップが任意となるため、修正適用時の影響を最小限にとどめることができます。

本セミナーでは、この長期サポートプランをはじめとしたLinux基幹システムのクラウドリフトの解決策や、その先のクラウドシフトに向けたモダナイゼーションのポイントをわかりやすく解説します。

- オンプレミス環境でLinux基盤でシステムを運用している方
- Linux基幹システムをクラウドリフトしつつも、長期で安定したサポート環境をお求めの方
- Linuxの既存アプリのクラウドシフト対応・コンテナ利用を検討している方

第一部 オンプレミス基幹システム(RedHat Linux)のモダナイゼーションに向けて

14:00～14:03

クラウド活用が進む背景や、クラウド活用に向けたお客様の課題やご要望を整理・解説しながら、富士通の考えるクラウドリフト・クラウドシフトに向けた課題解決方法をご紹介します。登壇者：富士通株式会社 プリセールス第二統括部 中嶋 一雄氏

第二部 クラウドリフトに最適なLinux長期サポートご紹介

14:03～14:18

～ お客様のクラウドリフトを支えるクラウド向けRed Hat Enterprise Linux向けサポートとは？ ～

クラウド移行に当たって課題となる、Linuxのバージョンアップ対応。通常、新規のセキュリティ・バグ修正はRed Hat Enterprise Linuxの最新マイナーリリースに対してのみ提供されますが、長期サポート（Red Hat Enterprise Linux AUS）をご利用の場合は、マイナーリリースのアップデートをせずに新規修正の適用が可能なため、長期にわたる安定稼働を実現できます。本講演では、このRed Hat Enterprise Linux AUSについて、事例を交えて詳細にご説明いたします。登壇者：富士通株式会社 Linux) 企画部 橋本 健氏

第三部 コンテナを使ったクラウドシフトとは？

14:18～14:35

DX実現に向けてクラウドシフトを目指す際に課題となる、コンテナの技術者の確保問題や、DevOps環境の構築・運用者不足。本講演では、これらの課題解決に向けた構築レシのコンテナ基盤サービス Red Hat OpenShift Container Platform について、事例を交えて詳細にご説明いたします。登壇者：富士通株式会社 コンテナ技術部 泉 拓氏

第四部 質疑応答

14:35～14:40

セミナー終了後に、お客様からの質問に対し、ライブにて回答します。



申込方法 (お申込締切り：11月18日(金) 12:00 まで)

下記URLより申込サイトにアクセスいただき、手続きをお願いいたします。後日メールにて参加用URLをご連絡いたします。

受講
無料

https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/76589?ss_ad_code=chirashi